

えびの 市議会だより

あけましておめでとございます



主な
内容

新年のごあいさつ.....	P 2～P 3
12月定例会の主な審議案件とその結果.....	P 4～P 5
一般質問（登壇12人）.....	P 6～11
平成24年度決算審査報告.....	P 12～P 13

新年のごあいさつ

えびの市議会議長

本石 長 永



市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健康やかに迎えることと、心

からお慶び申し上げますとともに、日頃より、市政発展のために多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年9月22日市議会議員選挙が執行され、新たな議会構成を決定する10月の臨時会におきまして議長に就任いたしました、本石長永でございます。市議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

近年の地方分権の進展に伴い、地方自治体の自己決定、自己責任の範囲が拡大し、住民に身近な市の役割はますます重要になっております。えびの市におきましては、人口減少への対策、少子高齢化への対応、農林・商工業の振興、市街地の活性化、高齢者福祉対策、交通弱者対策など、克服すべき多くの課題を抱えております。このような市政課題の解決に向け、市民の皆さまの声を十分お聴きし、しっかりとした議論を重ねる

とともに、昨年の6月定例会から、インターネットによる本会議（一般質問）の中継を行うなど、開かれた議会づくりに努力しているところであります。

また、議会は二元代表制の下で、市長や行政委員会との立場の違いを踏まえ、常に緊張ある関係を保ちながら、市民の皆さまの福祉の向上、市政の発展に寄与していかなければなりません。議会といたしましては、えびの市議会基本条例に掲げる理念の下、行政への監視及び評価をはじめ独自の政策提言など、議会機能の一層の充実強化に努めてまいります。

新年を迎えるにあたり本市議会といたしまして、市政を取り巻く環境の変化を的確にとらえながら、議員一人ひとりがその責務を自覚し、議員活動にまい進するとともに、活力あるえびの市の実現に向けて、誠心誠意努めてまいる所存であります。

新春に臨み、市民の皆さまの更なるご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとりまして幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますことをご祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。



農林水産祭村づくり部門で最高賞の天皇杯を受賞した田代地域

平成25年度の一般会計予算は1億9,280万円を増額し

総額108億9,372万円に

25年度	国民健康保険特別会計予算を1,089万円増額し	総額	36億6,758万円に
25年度	介護保険特別会計予算(保険事業勘定)を1億2,095万円増額し	総額	28億5,553万円に
25年度	観光特別会計予算を54万円増額し	総額	3,177万円に
25年度	水道事業特別会計予算を95万円減額し	総額	3億1,443万円に
25年度	病院事業特別会計予算を561万円増額し	総額	3,930万円に

一般会計

基金積立金に5606万円追加 加久藤橋地質調査に1440万円

工業団地開発・地熱開発関連の調査費なども予算化

12月定例会

平成25年12月定例会は、12月6日から18日までの13日間開催し、諮問1件、議案18件を審議。審議結果は次項の審議結果表のとおりです。なお、継続審査となっていた平成24年度一般会計決算など認定7件は、開会初日の本会議に審査結果が報告され、すべて原案の通り認定しました。

●市長・副市長及び教育長の給料月額を改正

市長の月額給料は平成8年度以来17年ぶりに改正するもの。(特例条例は廃止された。)

副市長及び教育長の月額給料は市長給料の特例に合わせて大幅減額していたものを同時に見直したものです。

今回の見直し案は、県内他の自治体の状況を基に、特別職報酬等審議会の審査・答申を得ていたもの。(それぞれの新月額給料は、P12に掲載)

●市立図書館の新指定管理者の指定

指定管理者契約の更新により、来年度から5年間の新たな指定管理者を定めたもの。新管理者は「株式会社図書館流通センター」。全国385の受託実績があり、九州地区では出水市など13自治体図書館の管理を受託しています。

●観光特別会計及び同基金を廃止(関係する2条例を改正)

一般会計とは別の財政経理をしていた同特別会計ですが、一般会計からの多額の繰り入れに依存する状況が継続。今後の観光事業による市財政負担を軽減するため一般会計へ移行するものです。また、同会計の財政を調整するため設置していた基金も基金残高が無く、併せて廃止するものです。

●一般会計予算の補正

歳出の主なものは、地域の元氣臨時交付金の交付に伴い、その一部の基金費の増額、国庫負担金精算に伴う生活保護扶助費の増額、

林業機械導入事業の交付決定に伴う減額、工業団地適地調査のための増額、過去に借りた高利率市債を繰り上げ償還する公債費の増額などです。(関連記事…常任委員会報告P12〜13参照)

●介護保険特別会計の補正

今回、保険事業勘定(別にサービズ事業勘定があり)で、主に保険給付費の増加に伴い保険給付費1億2359万9千円を追加するもので、これに伴い歳入では、国庫支出金、支払基金交付金、一般会計繰入金を増額するものです。

●病院事業会計の補正

今回の補正は、医師住宅建設(場所…旧たばこ耕作組合跡造成地)及び機械備品購入に伴うもので、財源は国民健康保険特別会計からの国庫補助金等で賄われます。

【議決した人事案件】

人権擁護委員候補者の推薦

渡辺松夫さん

固定資産評価審査委員に選任

赤川一郎さん

情報公開・個人情報保護審査委員に次の4名を選任

徳澄季喜さん 永田萌子さん

河村 旭さん 馬籠勝典さん

平成25年12月定例会 議案等審議結果表

会期 12月6日から18日まで（13日間）

1. 議案等

番 号	件 名	審議結果
諮問第 2号	人権擁護委員候補者の推薦について	別段異議はない
議案第 88号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同 意
議案第 89号	えびの市情報公開・個人情報保護審査会の委員の選任について	同 意
議案第 90号	えびの市過疎地域自立促進計画の変更について	原 案 可 決
議案第 91号	公の施設の指定管理者の指定について	原 案 可 決
議案第 92号	えびの市長期継続契約を締結することができる契約に関する条例の制定について	原 案 可 決
議案第 93号	えびの市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	原 案 可 決
議案第 94号	えびの市営弓道場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原 案 可 決
議案第 95号	えびの市特別会計条例の廃止について	原 案 可 決
議案第 96号	えびの市観光特別会計基金条例の廃止について	原 案 可 決
議案第 97号	平成25年度えびの市一般会計予算の補正(第7号)について	原 案 可 決
議案第 98号	平成25年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第4号)について	原 案 可 決
議案第 99号	平成25年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第4号)について	原 案 可 決
議案第100号	平成25年度えびの市観光特別会計予算の補正(第2号)について	原 案 可 決
議案第101号	平成25年度えびの市水道事業会計予算の補正(第4号)について	原 案 可 決
議案第102号	平成25年度えびの市病院事業会計予算の補正(第2号)について	原 案 可 決
議案第103号	えびの市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原 案 可 決
議案第104号	えびの市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	原 案 可 決
議案第105号	平成25年度えびの市一般会計予算の補正(第8号)について	原 案 可 決
認定第 1号	平成24年度えびの市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (13:1)
認定第 2号	平成24年度えびの市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (13:1)
認定第 3号	平成24年度えびの市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (13:1)
認定第 4号	平成24年度えびの市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定 (13:1)
認定第 5号	平成24年度えびの市観光特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認定第 6号	平成24年度えびの市水道事業会計決算の認定について	認 定
認定第 7号	平成24年度えびの市病院事業会計決算の認定について	認 定

一般質問

農業所得向上政策について



北園 一正
議員

12月定例会では、12人の議員が一般質問に登壇し、市長の政治姿勢、新年度に向けた予算編成方針、農政問題、土木行政、財政運営、駅の周辺設備など幅広く活発な議論がされました。その要旨を議員各位が報告します。

質問 市長のマニフェスト「ふるさと振興結いのまち創造計画」の新たな活力を生む産業づくりで、農業所得20%アップとあるが、

えびの市の農業は米作と畜産を中心とする複合経営が主流となっている。平成24年度農業粗生産額から換算した農業所得はいくらか。

市長 24年度農家一戸当たり（専業農家及び第一種兼業農家）の所得額は132万円となっている。

質問 農業所得を20%アップするには、所得率の高い特産品の生産拡大等、新たな農業政策が必要である。市長の農業所得向上政策は何か。

市長 所得率の高い特産品の生産拡大を図る必要がある。例えば、



所得率の高い特産品として期待されるネギ栽培

ゴーヤ、ホウレン草、ピーマンの野菜類と果樹類では栗の生産拡大を進めたい。

質問 水道事業の小修繕維持工事設計単価の改定の必要がある。水道事業管理者である市長の指示が必要であるが、考え方を伺う。

市長 なるべく早い時期に改定するように指示する。

バスよりタクシー利用を



宮崎 和宏
議員

質問 平成26年度予算編成の時期であるが予算要求について各課にどのように指示されたものか。

市長 各課長のリーダーシップのもと、すべての事業について事業の目的は何か、成果はどうあるべきか、成果に見合った経費かどうか、を十分に精査して予算要求するように指示をした。

質問 重点施策として、定住交流人口の増加、働く場の確保産業の振興に関する施策については、要求限度額は別に要求を認めるとある。額としてどのくらいみているか。

財政課長 通常経費は前年並みとしていますが、別枠として2億4千万円程度みている。

質問 10月から西部地区、加久藤真幸地区でコミュニティバスの実証運行を始めている。二ヶ月平均の利用率は一ヶ月平均4.8人、1便当たり0.9人と報告を受け

ている。利用者が少ないと思うが、市長の感想は。

市長 自治会を通じて広報はしているがまだ周知が足りないのか。そのための試験運行であるので今後検討していく。

質問 バス路線から外れた地域も出てくるので市民の公平性を考えればタクシー運行も考えるべきだと思うが。

市長 コミュニティバスのみでは、市民の移動手段が100%カバーできないので、福祉タクシーの拡充による2つの公共交通を近いうちに提案したい。



実証実験中のコミュニティバス西部線

農業政策を新年度予算に生かせ



竹中 雪宏
議員

質問 TPPの問題やコメ政策が大きく転換されようとする中、肥育農家と養豚農家は、依然として生産資材の高止りや素牛価格の高騰等で、さらに経営状況は厳しさを増すことが懸念される。従っ

て肥育対策は市貸付牛の倍増、養豚対策は疾病予防に使用するワクチン代の支援は最低でも肝要と思うが、そのような考えはないか。

市長 貸付牛の予算枠、頭数ともに増す方向で予算編成を考える。また、養豚対策は中小家畜生産性向上対策事業の要綱等の見直しを行って、ワクチン代の助成も対象になるように指示を考えている。

質問 最終年度である中山間地域活性化推進事業の目標達成は厳しいようであるが、今後、どのように対処していくのか。

市長 後年度に向け部会の中でも、結論を導き出していく。

質問 本市独自の青年就農給付金事業に取り組み考えはないか。

市長 支給の対象者が増えるように改良を加えた形で提案する。

質問 食味コンクールを活用して、販路拡大まで繋げる考えは。

市長 農家所得に繋がるようJ Aとも協議を行い提案する。



懸命な経営努力をしている肥育農家

危機管理体制について



上原 康雄
議員

質問 緊急災害情報や防災に関する情報を市民に正確に伝達できるように、防災無線の戸別受信機等を増設し、情報伝達体制の充実を図るべきではないか。

市長 防災無線は、難聴地域や小中学校などに戸別受信機を配置している。全戸配置には膨大な予算が必要である。コミュニティFM局を設置し災害時の情報提供に使用したい。

質問 強い寒波や自然災害時等で水道が断水し、水の供給がで

きない事態が想定される。いざという時のため水源の確保に飯野小学校の噴水塔の水が貴重な水源となる。有効に活用するために噴水塔の改修が必要と思うが市長の見解は。

市長 飯野小学校の噴水塔については、災害時に対応ができる貴重な水源として、市民の皆さんが安全に水を確保できるように蛇口であったり、そういった取り付けができないか指示している。



緊急時の水源として注目されている飯野小噴水塔

機能性野菜栽培を



蔵園 晴美
議員

性野菜の色素成分に期待される効果などを提示したコーナーを設置して販売促進をし、農家所得の向上を図る考えはないか。

市長 えびのの物産に、どう

質問 平成24年度決算における特産品開発促進事業で作物発掘プロジェクト品目拡大事業補助金（平成21年～平成25年）の活用では、特産品として特定されず、苗の配布にとどまっている。

いった栄養素や効果などの特徴があるのか判れば、PRしていきたい。新年度の取り組みとして調査してみたい。

質問 えびの駅は国の登録有形文化財に申請されている。

特産品発掘ができないのであれば、抗酸化性分を始めとする、健康を維持する機能を持つ機能性野菜を特産物として位置づけ、新年度事業で取り組み、物産館で機能

現在の駅舎周辺景観はどうか。早期に整備をするべきだ。新年度より取り組み考えはないか。

度事業で取り組み、物産館で機能

市長 地域の意見を聞き全体的な整備をしていく。教育委員会と



物産館で販売している
えびの市の新鮮野菜

も協議し、早いうちに予算化した。

教育長 現

在のままの駅舎付近の景観は良くない。

30人学級で教育の充実と定住増を



池田 孝一
議員

市長 これまでの市独自の少人数授業の成果も上がっていたし、教育委員会からの要望もあった。

また以前、池田議員からの提言もあっていったもの。30人学級の教育的効果はもちろん、この教育改革をいち早く導入することで、教育に熱心な自治体だということが広くPRされ、子育て世代の定住にもつながると期待している。

質問 市長は新マニフェスト2で、小中学校の30人学級の導入を挙げている。この教育改革を来年度から実施したいわけだが、ここに至る背景を聞きたい。

質問 導入方針と教育的効果とはどのようなものか。

教育長 一人ひとりを大切にするきめ細やかな学校教育を実現するために小中学校の全学年において30人学級を完全実施する。30人学級のメリットは大きく3つで、学力の向上・生徒指導の充実・信頼関係の深まりである。

質問 保護者への説明時期とハード面の整備はどうなるか。

教育長 教室の増には空き教室が十分ある。説明は3月議会予算成立後となるが、すでに保護者からの喜びの反響が届いている。



市内一部の小中学校で実施されている少人数授業風景

大区画ほ場整備を



田口 正英
議員

質問 本市の基幹産業である農業は、就農者の高齢化や後継者不足をはじめ、用水路や農道の未整備、小区画ほ場のため生産効率が悪く農業所得が思うように上がらない。また、農業機械は大型化され性能がよくなる反面、購入費が高く、コスト高の要因の一つである。今後、このような未整備の水田整備事業に取り組み必要があるのではないか。

市長 農地の集約は、今後4年間の目標でもある。市は現在、畑地かんがい事業に取り組んでいる。新規の水田整備事業はないが、受益者や地域のまとまりなど勘案しながら合意形成し、新たな意思決定に向けた取り組みをしていく。

質問 繁殖和牛の頭数減少に歯止めがかからない要因の一つに口



ほ場整備が望まれる未整備田

蹄疫の影響があるのではないかと。また畜産農家もたらずメリットは地域の活性化は元より、他の産業にまでも大きな利益をもたらすと思うが、支援対策はあるか。

市長 口蹄疫の影響はあるが、消費の低迷からは脱却できたと思う。意欲のある畜産農家の支援対策として、市の繁殖牛貸付事業の返済期間を一年延長する。

高齢者対策と環境整備



井上 義人
議員

質問 えびの市の高齢化率は35・56%で、市内6地区が超高齢地区となっている。団塊世代の方々が高齢者の仲間となり、一躍、活動の中心となって、「生きがい・就労」として長年培った、技術・知恵を広く後継者に伝える対策はないか。

市長 現在、ゲートボールやグラウンドゴルフなど趣味を生かした活動が行われている。高齢者が得た知恵と工夫で地域の活性化を図る政策を講じたいと考えている。

質問 川内川河川敷の公園化に伴い、川内川に生息する生物を展示できる展示館の新設はできないか。市民の恵みの川に生きる生物を守り育てるために、児童生徒に観察体験を重ね、環境美化の情操教育に役立つと思うが。

市長 本事業は国土交通省が空

間形成を支援する「かわまちづくり支援制度」で、国や市、地域住民が一体となり、河川敷地の公園化を図る事業である。周辺の土地護岸整備が主で、スポーツやイベントができる公園整備となる。発言の展示館建設は困難と考える。市においても、現在展示館の計画はないが、将来においては検討すべき課題と考えている。



かわまちづくり事業で公園化が予定されている川内川河川敷

京町温泉活性化事業について



山元 豪
議員

質問 平成25年度施政方針では、「京町温泉の活性化につき、まちなか商業再生支援事業により、引き続き支援してまいります。」とあるが、このまちなか商業再生支援事業とは、どのようなものか。

観光商工課長 厳しい環境の中でがんばる商店街などを再生するため、地域の「まちづくり」を支援する事業で、県が2分の1、市が2分の1補助するものである。本市で取り組んでいるのが、まちなか商業再生実践支援の社会的課題対応等事業であり、京町温泉を核として地域がにぎわいを取り戻すため、近年は空屋再生整備事業に取り組んだ。

質問 京町温泉の活性化において空家再生整備事業など様々な事業で何か問題は発生していないか。



まちなか商業再生支援事業で誕生したチャレンジショップ

観光商工課長 この事業として3軒のチャレンジショップが誕生して現在問題なく運営している。問題点というよりは課題点として、事業主体である京町温泉活性化プロジェクト会議に対して、この事業成果を、地域の活性化に有効活用していただく必要があると考える。

インフラ整備について



西原 義文
議員

質問 前田橋北側入口の道路幅が狭く、また両脇が高土手で離合が困難である。道路幅の計画は、**建設課長** 国道から前田橋北側まで整備が完了したことにより、



改良が望まれる前田橋及び周辺

利用者が多くなると思う。川内川の堤防にも接合しているので河川事務所と協議しながら今後整備を計画していく。

質問 前田橋は供用開始から50年経過している。通行量に合った前田橋の新設費用はどの位か。

建設課長 仮に架け替えた場合、概算で5億から6億円かかる。

質問 飯野駅トイレを公共的な障がい者の方も使用できる水洗トイレにする考えはないか。

市長 JR九州に水洗化に向けた要請をする考えである。

質問 明日にでも相談をする考えはないか。

市長 水洗化の予算を組んでJRの補助が得られるか、また後の管理の事もあるのでJR九州と協議し、相談していきたい。

質問 飯野駅舎の購入の考えはないか。

市長 現時点では駅舎の活用は目処が立っていないので、まずはトイレの水洗化の要請をしていく。

秘密保護法は戦争準備だ 廃止を



西原 政文
議員

いと考えるので、憲法は改正すべきと考える。秘密保護法は戦争につながるものと思っていないので声を上げる気はない。

質問 憲法9条について10月議会で実情に合わないから改正すべきだと言われたが変更は無いのか。併せて秘密保護法は目と耳と口をふさぎ戦争の準備だとマスコミも報道し有識者も同様に懸念を表明し反対している。市長もすべきだ。

市長 憲法9条は武力を持たないところがあるが、実際これを持った自衛隊が全国にあり、実体と合わない

質問 上島内の古墳に施設が作られるが、上島内・下島内連絡線の道路は軽トラックも離合できない。島内石坂橋から鉄道までの道路整備が必要だ。

市長 社会教育課と建設課で検討する。

質問 子育て対策として、病気の時は子どもたちの治療が出来るよう中学生・高校生の医療費助成をすべきだ。

市長 医療費助成は高校生については調査していないが、中学生で予算化には、500万円から600万円必要となる。予算化に向けて結論を出したい。



イチゴのブランド化支援について



栗下 政雄
議員

質問 市長は、えびの市のイチゴをブランド化したいということを取り組んできた経緯があるが、今後について、予算措置等の対策を考えているか。

市長 栽培農家の方々からも、病気に強いウイルスフリー苗の購入に対する行政の支援について、意見をいただいております。担当課にも指示して新年度に向けて前向きに取り組めないか検討中である。

質問 「にこまる」の今後の取り組みについて、現在農家は減反の問題等を抱え、先が見えない状況である。農家に生産意欲が出るように、市長からもJAに対し、販売を強化するように指示してもらいたい。

市長 JAは一番販売していく機関であり、これまでJAの方からも行政側のPRに対する要請も



ブランド化を推進しているえびの産イチゴ

きているので、行政としてもPR対策に努めて、販路を拡大するよう協力していきたい。

議案等の 審査

総務教育常任委員会報告

平成24年度決算審査

議会閉会中に審査していた、同年度の決算の認定3件は12月定例会開会日冒頭の本会議に審査結果報告。3件すべて認定されました。以下審査した決算について、審査内容の主なものを報告します。

一般会計決算

Q…決算の全体的概要は。

A…歳入総額113億902万8千円、歳出総額109億4293万7千円で、差引額は3億6609万1千円となる。差引額から平成25年度へ繰り越す財源を引いた実質収支額3億808万7千円の黒字決算となった。

Q…歳入及び歳出の主なものは。

A…歳入では、地方交付税45億4760万6千円(構成比40.2%)、市税18億3566万2千円(同16.2%)、国庫支出金15億1838万8千円(13.4%)となっており、歳出では、民生費37億3051万1千円(前年比5.3%増)、総務費20億7639万6千円(同20.8%減)、農林水産業費10億9143万1千円(46.4%増)である。これを性質別にみた義

務的経費は歳出全体の46.2%、投資的経費は同じく13.5%である。

Q…市税の前年比増減と収納率は。

A…市税総額では3876万5千円2.07%減であるが、収納率は前年度より1.04ポイント伸び過去最高の91.26%となった。

Q…全体で19件ある基金の状況は。

A…基金の内、最も大きな財政調整基金は前年度末残高から1億円減り35億2473万7千円に、公共施設等整備基金は2億811万8千円増え、17億5725万3千円になった。

水道事業会計決算

Q…決算の全体的概要は。

A…損益計算からみた当年度の経営成績は総収益3億2700万7千円に対し、総費用は2億8948万4千円で、当年度利益3752万2千円の純利益となった。

Q…建設改良事業の成果は。

A…最終年度となる尾八重野地区簡易水道統合整備事業のほか、第2水源築造事業及び老朽化整備事業など建設改良費2億7875万9千円を支出した。この結果、尾八重野地区は平成25年4月給水開始となった。

病院事業会計決算

Q…患者数の前年度比較増減は。

A…医師減の影響で、入院が1万2209人(64人0.5%減)、外来が3万6678人(1885人4.9%減)となった。

Q…決算の全体的概要は。

A…損益計算からみた当年度の経営状況は、総収益8億2449万5千円に対し、総費用は8億6175万6千円で、当年度3726万円の赤字決算となった。

12月定例会議案審査

12月定例会では、議案10件を審査。これら議案等は本会議において原案通り可決されました。主なものは次のとおりです。

①図書館に新たな指定管理者

Q…現在の指定管理者が変わる理由は。

A…現在の指定管理者は平成23年度から本年度までの3年間となっていた。期間満了に伴い平成26年度からの指定管理者を公募

し、応募のあった中から選定した。

Q…以前、個人情報流失することがあったが、新管理者のもとで問題ないか。

A…図書館の管理システムは変わらな

②一般会計予算の補正

Q…地域の元気臨時交付金を活用した予算の使い道は。

A…国の緊急経済対策によるもので、内鶴川河川改修、白鳥温泉下湯改修のほか、残りは平成26年度に実施する予定(岡元小、真幸中の体育館改修費)の財源として基金に積み立てる。

③市長、副市長及び教育長の給与改定

Q…給与改定案は。

A…それぞれの給料(月額)を次のとおり改正する。(単位千円)

市長	815	↓772
副市長	526.5	↓616
教育長	476.2	↓557

Q…市長の給料月額は条例上、減額となるのはなぜか。

A…現行の市長給料月額は、平成8年度からそのままだった。しかし別の特例条例でこれを3割減額していたもの。この特例を廃止したため実質は増額となる。

総務教育常任委員長

池田 孝一

議案等の 審査

産業厚生常任委員会報告

平成24年度決算審査

10月定例会に提案され、産業厚生常任委員会において審査した5件の決算の審査を行い、全て認定すべきものと決しました。主なものを報告します。

一般会計決算

Q…環境センター、美化センターの修理状況や両施設の耐用年数についてどうなっているか。

A…廃棄物処理施設は15年をめどに耐用年数となる。環境センターは、現在で25年を向かえるが、平成22年度に行った精密機能検査の結果、劣化や緊急を要する修繕箇所はなく3年おきに精密検査を行い延命化を図っている。

Q…特産品開発促進事業は、農家の所得向上のために、11品目について契約栽培を行うとのことだったが、全てが契約栽培とはなっていない。他の5品目について、現在の状況は、どうなっているか。

A…玉ねぎ、かぼちゃ、ゴーヤ、生姜、スナックエンドウ、栗の6品目を新規品目と指定し、5年間の継続事業として推進している。他の品目は、作物の単価収益が上がらず、止めていく農家があり、え

びのに適さない品目もあり見直しをした。農家の所得補償をするために、今後もJ Aと協議し、契約栽培に取組んでいきたい。

Q…特産品開発促進事業費について、作物発掘プロジェクトチームがあるのであれば、十分研究して特産品はこれだというものを作っていくべきではないか。

A…市内の誘致企業の中から、オリーブをえびの市で栽培できないかという提案があり、試験栽培の検討段階である。このオリーブからオイルを市内で搾油して、オイルそのものが販売できる体制ができれば、所得向上につながる。農産園芸部でも検討している。今後も取組んでいきたい。

Q…有害捕獲獣肉販路拡大事業の進捗状況や事業内容、委託先、販売実績はどうなったか。

A…単年度事業であり、西諸地区森林組合に委託した。業務内容は、捕獲した野生獣の肉を製品化し、飲食店等に販売するルートを確立するもの。

国民健康保険特別会計決算

歳入歳出額は37億634万5千円。基金繰入額は2千300万円で依然厳しい国保会計運営がされている。

観光特別会計決算

Q…口蹄疫の発生や新燃岳の噴火でキャンプ村の使用料が低迷したが、以前と比較して平成24年度はどうだったか。

A…平成24年度は、前年度より増加しているが平成22年度並みの収入までには至っていない。

12月定例会議案審査

12月定例会に提案された7つの主な案件はつぎのとおりです。

老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

Q…条例改正の内容と運営は。

A…表現の統一化を図り、えびの市老人福祉センター条例とする。施設名は高齢者交流プラザとし、管理委託はシルバー人材センターを予定している。

えびの市特別会計条例の廃止

Q…廃止する背景は何か。

A…平成21年4月に自治体財政健全化法が施行され、特別会計で運営する観光施設や財政運営の支障にな

る観光特別会計は、運営を総合的に判断し廃止する。

一般会計予算の補正

Q…農地相談業務委託料に関連し耕作放棄地の増大への対策はあるか。

A…放棄地と認定すれば、その生産者と受益者の方が再生の意欲を持つていれば、再生事業を取組む。近隣の担い手や隣接の農地所有者に斡旋をする。

過疎計画の変更について

Q…過疎計画の主な変更は何か。

A…加久藤橋を早期に架け替えるため地質調査を追加するもの。

国民健康保険特別会計

Q…国の財政調整交付金を得て市立病院に繰り出す施設整備費の内容は何か。

A…医師住宅建築費に327万1千円、医療機器器具に262万5千円を国民健康保険特別会計で受入れ病院事業会計へ支出する。

観光特別会計

Q…観光施設の利用状況は。

A…キャンプ村施設使用料・白鳥温泉上湯施設使用料共に新燃岳火山活動の沈静化で利用者の増加に伴い増額する。

Q…歳出の主なものは何か。

A…利用者増に伴い修繕料や光熱水費の増額となったもの。

産業厚生常任委員長

西原 政文

議案等賛否一覧表

議案番号	議員氏名 件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	審議結果
		本石	遠目塚	山元	小東	田口	井上	北園	上原	池田	竹中	西原(義)	西原(政)	蔵園	宮崎	栗下	
認定第1号	平成24年度えびの市一般会計歳入歳出決算の認定について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	認定
認定第2号	平成24年度えびの市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	認定
認定第3号	平成24年度えびの市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	認定
認定第4号	平成24年度えびの市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	認定

○：議案等に対して賛成 ×：議案等に対して反対 ー：欠席 /：議長は採決に加わりません

議会日誌

10月

12日 関西えびの会ふろさと訪問歓迎会
14日 吉都線全線開業100周年及び
都城駅開業100周年記念式典
(都城市)

17日 森林・林業・林産業活性化九州
大会(福岡市)

18日 第2回宮崎県市議会議長会定期
総会(宮崎市)

29日 議会広報常任委員会
えびの市森林・林業・林産業活
性化議員連盟総会

30日 議会広報常任委員会
えびの市戦没者追悼式

11月

3日 平成25年度えびの市市民表彰
式典

5日 議会広報常任委員会
6日 平成25年度宮崎県市長会研修会
小規模市ネットワーク市議会同
中央要望会(東京都)

7日 決算審査(12日まで)
12日 全員協議会

13日 議会広報常任委員会
宮崎県市議会議長会議員研修
会(小林市)

16日 食味コンクール
19日 平成25年度金婚式祝賀会
宮崎県森林・林業活性化議員連
盟研修会(宮崎市)

25日 小林・えびの間道路改良促進期
成会総会

28日 全員協議会

12月

2日 基地対策調査特別委員会

3日 議会運営委員会

6日 12月定例会開会



新年明けましておめでとうござ
います。

新年度から教育環境整備の観
点から県内初となる市内全小中
学校30人学級制度が始まりま
す。学力の向上、生徒指導の充
実、信頼関係の深まりが期待さ
れ、将来国際人として、えびの
市や日本のために尽くして欲し

いものです。

「議員はどのような活動をし
ているのか？」とよく聞かれま
すが行政のチェック・問題発生
時の調査・対策を伝え、市民の
意見をまちづくりに反映させる
住民のための政策を行うことが
私達議員の務めだと思っていま
す。市民の皆さんの疑問を解消
する努力も続けていきたいと思
います。

議会広報常任委員会

小東 和文

